

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

=ホームページにカラー版を掲載中!=

こぶし

第 144 号

2016年 8月13日発行

発行責任者：横井 正人

編集：機関紙局

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

北海道函館市陣川町 122-172

TEL/FAX: 0 1 3 8 - 5 4 - 2 8 5 9

年 2 回 発 行

E-mail: kobusiza@wing.ocn.ne.jp

http://kobusiza.sakura.ne.jp/

主な内容

- (1) ソウル公演…寄稿
- (2) 創立 50 周年記念
札幌公演を終えて…寄稿
- (3) 第 18 回通常総会の報告
- (4) 公演計画(8～2月)ほか



暑中お見舞い

申し上げます。

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？

こぶし座は、この五月、「ソウルフレンドシップフェア」に再度の招聘(道国際課の要請)を受けて参加してきました。

まずもって、昨年以上のみなさまからのご支援に、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、東日本大震災から五年という歳月が経ちました。今改めて、生活の再建に向け奮闘する多くの方々を中心によりお見舞い申し上げます。

私たち「こぶし座」は、「東北へのエールと北海道の元気」を生み出す公演活動を、これまでと同様に継続して行きたいと考えております。

今年度は、その思いを表出すべく「特別事業」として岩手県野田村の友人達が舞う「山根神楽」(久慈市)を招き、復興祈念の集いを行いたいと考えております。後援会を始め多くの方々と共に、東北への想いを深め合いたいものです。

*

今年四月の「熊本地震」、そして、局地的豪雨や全国的な猛暑は異常を極めていきます。この先、台風被害や熱中症にかかる人も急増するのではないかと心配が募ります。

私たちの住む函館も梅雨のような7月をおくり、最近では一転して30度越えの日々を過ごしています。現在、公演部は8月下旬からの学校公演のために、体調管理に気を配りながらの稽古に汗だくになって取り組んでいます。

先日、地元恒例の陣川あさひ町会「納涼まつり」が行われました。子どもたちと共に続けてきた「太鼓教室」が、地域のなかに根付き、祭りを盛り上げる大切な役割を担っていることは嬉しいかぎりです。

とりわけ今年、町会役員の面々が子どもたちに負けじと大張りきり!!座の稽古場に通い詰め、町会長を先頭に「江差のもちつきばやし」を舞台披露…。拍手喝采、大盛り上がり! 芸能のもつ力が人々を繋ぎ、地域のコミュニティを豊かに築き上げていくことに喜びを感じています。

これから一層暑い日が続きます。どうぞ、お元気で!!

「ソウルフレンドシップフェア」に、今年も出演!!

道国際課からの再要請―ソウル特別市主催(招聘)による

昨年に引き続き、皆様のお力添えで参加できました。心からの感謝です!

今回は、初代・こぶし座後援会々長の畑中恒人さん(医師)もソウル入りし、

二日間の行事を取材(記録映像)して下さいました。

お忙しい中、その様子を寄稿していただきましたのでお伝えします。

「Seoul Friendship fair 2016」

が行われた会場は、舞台を中央に挟んで三方をとんがり屋根の100軒余りのブースが囲む。それぞれ世界各国自慢の工芸品、民族衣装や料理、それに、飢えと貧困で苦しむ地域の子供たちへのチャリティ活動の出し物が並ぶ。

舞台右側には、「Two day journey around the world (二日間の世界旅行)」という大文字が主催者の心意気を表わしているようで一際目を引く。

オープニングは韓国の



メインステージでの『ぶち合わせ太鼓』

「Music traditional orchestra」

(伝統音楽集団)によるオーケストラレシジョン。琴や胡弓のような弦楽器やチャングなど打楽器の個性ある音とリズムが、真綿のような薄雲がかつた青空を背景に広場周囲を取り囲む高層ビルにほどよく反響して芝生に腰をおろした大勢の老若男女の心はずませる。

外国の演奏集団はカラフルな民族衣装やコスチュームに身を包み、それぞれ十数人が舞台いっぱいに動きまわった。

こうしたなかで、小集団のこぶし座がどのようなパフォーマンスをするのか、ちよつぱり不安な気持ちをもって出番を待った。

*

司会者はこぶし座を「次は日本の北海道からきたアーティスト」「50年前にプロフェッショナル集団として誕生」と紹介。始まりはお囃子。笛と小太鼓のハーモニーが聴衆の



サブステージ公演前に…畑中さんと談笑

鼓動に合わせるかのように実にゆつたり朗々と響き渡る。

「アンニョンハセヨ(今日はこんにちは)松岡智恵美さんの挨拶に大きな拍手がわく。続いての『ソーラン節』では、こぶし座の発声に合わせて「ヤーレン」「ドッコイショ」と会場から元気な掛け声がかかる。次に、『ぶち合わせ太鼓』。

これが素晴らしかった。3人の息の合ったばちさばき、舞、躍動が目の前で繰り広げられた。まさに極上のぶち合わせであつた。会場のあちこちから口笛が飛び交い拍手が鳴りやまなかつた。

最後には、舞台下に降りて舞う獅子の動きに合わせて観客が手拍子をとったり踊る一幕も。演奏が終わるや否や「うおー」と感動の声がわき起こりいつまでも拍手が続いた。

よかつた。さすが北海道の大地で育まれ道民が自信をもってソウルに送りだした「ちっちゃな」集団が「でっかい」世界の檜舞台に躍り出たのだ。

実りの多いこぶし座ソウル公演であつた。

(動画で鑑賞をご希望の方はこぶし座事務局まで)



パレードの先頭は、地元・韓国の演奏団

招待されたパフォーマーは13カ国。…エジプト(カイロ)のメンバー達と



第18回「通常総会」開かれる。

創立51年目、新たな一歩を踏み出す総会―。江差・札幌・帯広での記念公演を成功させ、秋からの一般公演につなげる大切な一年に!!

さる、四月二十九日(金)

「第十八回通常総会」が行われました。社員総数十七名、出席数十三名。横井理事長の挨拶の後、開会となりました。

*

事後5年を迎えるにあたって東北との関係を一層大切にしたいためにも―野田村から『山根神楽』(久慈市)の仲間を招聘し交流を深めようと、催しの計画を立てました。

第一号議案「二〇一五年度事業報告」では、創立50周年記念事業として実施した三つの行事の成功を確認しながら、一般公演など、百四十五回(二〇、三七八人)の公演・講座を行ったこと、函館市アウトリーチ事業の講師活動のことなどが報告されました。

第二号議案「二〇一五年度収支決算報告」では、大きな節目の年ということで、例年以上に多くの方々からの支援が寄せられたこと、そして、ソウルに始まる沢山の感動を力に活動継続をはかってきたことが報告されました。

第三号議案「二〇一六年度事業計画」では、昨年に引き続き再訪韓の要請があつた「ソウル・フレンドシップフェア」参加を確認。また、震

第五号議案「役員選出」では、前期同様の各メンバーが留任する案が提案されました。

以上、全議案が承認され審議を終りました。

*

*

なお、総会冒頭に社員総数について報告がなされ、法人の設立以来、理事などを歴任してきた梶原康男さんの脱退と、新たに加入した元公務員の板垣清(アマチュア落語家「二杯亭小酔楽」さんの紹介がありました。

*

板垣清さんについては、第4面にも詳しく…。

「二杯亭小酔楽」さんの紹介がありました。

創立五十周年記念―江差・札幌・帯広公演、開かれる

― 昨年八月に実施した、地元・函館市での創立記念公演の成功を受けて、全道域の中でも繋がり深い、三地域で公演を取り組んで頂きました。応援団形式(事務局「こぶし座」)の札幌公演について、札幌応援団々長の星野康さんが寄稿して下さいましたので紹介します。

創立五十周年記念 札幌公演を終えて

札幌応援団々長
星野 康

文句無しに楽しみました。公演の始まりは、おはなし「浜の母つちやは、津軽の嫁こ」。津軽から函館の漁師に嫁いだ「嫁こ」の語りは、ほぼ満席となった「かでるホール」の観客を舞台に引き込みました。こぶし座が50年間、道南の地に拠点を置き、地域とつながりそこに生きる人たちと苦楽を共にしてきたからこそ聞き取れた暮らしの中の語りは、老若男女それぞれの胸に響いたのではないかと思います。

＊ ＊
民俗芸能の多くは、祭りや神事などの「場」で演じられてきたものでしょう。見せるというよりは自分たちが楽しむものでもあったでしょう。地域では子供達は祭りが近くなると師匠や家族の真似をしながら身に着けていく、そんな

な伝承の仕方も芸能の特徴だと思えます。こぶし座は長年、芸能の取材を大切にしてきました。地元を足運び一緒に学び練習する。その真摯な姿勢はアイヌの踊りや松前神楽で存分に発揮されていたと思います。



「江差のもちつきばやし」
…保育士有志の皆さんと共に…

＊ ＊ ＊
【公演アンケートから…】
・「おはなし」は、二人の津軽弁の絶妙なせりふまわし、えがったー!! (60代・男性)
・今の日本の行方に危惧した発言を作品に盛り込むことは勇気がいる事ではなかったかと想像します。思いに賛同します。トンコリの音をききながら、アイヌの言葉を聞いたことに感動です。(20代・女性)
・会場がびっしりになり、盛

＊ ＊ ＊
ステージでの演技は得てして「演ずるもの」「観るもの」となってしまうがちです。ところが、6月15日の「かでるホール」は祭りの「場」になりました。小さな子たちばかりでなく、そこにいるみんなから拍手が出たり体が動きだしたり、あつという間の2時間でした。



公演を終え席を立つ観客(満席…!!)

・日本らしくて、すごくよかったです。改めて日本の良さを感じました。(10代・女性)
・「おはなし」に涙が出ました。おじいさんやおばあさんが子どもの時から、よく働き、子どもたちを育て、村やまちを育ててきたのだと改めて感じて涙が出ました。今に繋がっているのだと感じました。子どもたちとも一緒に聞きたいものだと思います。本当の海、山や空が見えるようでした。アイヌのウパシクマ、美しい言葉、音色、すてきでした。(40代・女性)
・過去・現在・未来の北海道の風土・人と共にあるこぶし座の心意気を存分に堪能しました。(60代・女性)

＊ ＊ ＊
演じ手と観客が一体となって祭りが生まれたのでしよう。本当に心から楽しむことのできた「創立50周年記念札幌公演」でした。大成功、おめでとうござい



公演会場に届けられた花束
…手前は、ソウル事務所々長さんから

＝公演計画＝

《学校公演》

8月

- 18日(木) 苫小牧市・拓勇小学校
- 23日(火) 東川町・全町中学校
- 25日(木) 北見市・緑小学校
- 26日(金) 北見市・西小学校
- 29日(月) 清水町・全町小学校
- 31日(水) 釧路市・青葉小学校

9月

- 2日(金) 旭川市・愛宕小学校
- 5日(月) 夕張市・全市小学校
- 6日(火) 札幌市・三里塚小学校
- 8日(木) 函館市・附属小学校
- 9日(金) 函館市・神山小学校
- 12日(月) 函館市・弥生小学校
- 20日(火) 札幌市・八軒小学校
- 21日(水) 岩見沢市・南小学校

《保育園・幼稚園公演》

8月

- 19日(金) 函館市・亀田港保育園

9月

- 29日(木) 帯広市・つばさ保育所
- 30日(金) 帯広市・藤花保育園
- 30日(金) 帯広市・ときわの森保育所

10月

- 3日(月) 倶知安町・藤幼稚園
- 4日(火) 倶知安町・南保育園
- 5日(水) 倶知安町・倶知安幼稚園
- 6日(木) 函館市・人見保育園

11月

- 16日(水) 札幌市・北の星白石保育園

1月

- 10日(火) 函館市・神山保育園
- 11日(水) 函館市・つくしの子保育園

- 12日(木) 函館市・青い鳥保育園
- 13日(金) 函館市・つぐみ保育園
- 31日(火) 鹿部町・鹿部幼稚園

2月

- 6日(月) 札幌市・柏葉保育園
- 7日(火) 札幌市・北の星白石保育園
- 8日(水) 北広島市・大曲はだかば保育園
- 9日(木) 札幌市・桑園保育所
- 10日(金) 札幌市・しせいかん保育園

※上記の他、11月中旬より秋期の一般公演を実施する計画で準備中です。

〈現在までの動き〉(予定)

- ・石狩市 11/12(土) 14:00 花川北コミセン
 - ・苫小牧 12/07(水) 18:30 アイビープラザ
- 詳細は、ホームページでお知らせします。

『太鼓研修を終えて…』

7月25〜26日、鉦路「治水どんぐりの家保育園」の保育士が太鼓・踊り研修のため来座しました。昨年3月の鉦路公演で実行委員として奮闘した「吉田さん・勝山さん」の元気なお二人です。研修体験の感想(一部を抜粋)をお伝えします。

*：練習では、とても久しぶりにたくさんの汗をかき、筋肉痛にもなりながら、正直、とてもハードなんだな〜と思いましたが(笑)。また、太鼓にしてもソーラン節にしても、「ただ叩く」「ただ踊る」ということではなくて、叩き方にも色々コツがあり、高低の差の出し方や見せ方などたくさん重要なポイントがあり、ソーラン節も踊りの由来から動き一つ一つの意味や意図が細かくあって、それを知ることにより深く太鼓やソーラン節に関わったような気がします。この気持ちを治水の先生方にも感じてもらえるように一生懸命伝えてきます!!



来座後すぐに研修開始!
…まずは太鼓の基本から。

※園での活躍に期待です!!

て、改めて、こぶし座のみなさんのすごさを感じました。一つ一つの動作もしっかりと考え、工夫し、いろいろなことも考えながら行っていることを知りました。奥深さを実感しました。最後の発表では、みなさんを目の前にとっても緊張し、頭が真っ白になりそうでしたが、発表後のみなさんの温かい拍手に達成感や喜びを感じ、とても感動しました。涙が出そうになりました。たった2日間でしたが、とても貴重な充実した日々でした。私にとって、他では体験できない財産となりました。

こぶし座通常総会の前に、「社員になってほしい」と言われる。「これまでも長い間応援してきたのだから」と思い二つ返事で承諾した。承諾後、「NPO法人の社員」って何だ? 少し調べたがよくわからない。この疑問を座員に聞かないのも変か…。4月29日、通常総会初参加。活動報告はなるほど、そうかとガッテンしながら聞いていたが、「収支」になると「貸借対照表」等馴染みの少ない報告は質問を連発した。うーんまだよくわかっていないが、財政的に厳しい状況

座員大募集!!

あふれる想い・胸いっぱい的情熱をこぶし座で…

《演技部員・スタッフ・制作部員・事務局員》

18歳以上の健康な方…経験は問いません!

* 研修期間は1年間。(食住保証などの援助制度があります)見学も歓迎します。

『社員』となつて
函館市・板垣 清

『こぶし座後援会』への、ご入会をお願い致します!

= 機関紙をお読み頂いている皆さんにお願いです =
この団体は、「こぶし座を物心両面から支え励まし応援していこう…」という仲間達の集まりです。現在、全国に700名もの会員がおり、座活動を支える大きな力となっています。
* 年会費は、2,000円/1口。(何口でも可) ~是非ご入会下さい!! お力添えをお願いします。~

にあることはよくわかった。活動計画で注目したのは「創作を目指す」女性編成の内容づくりだ、今後の活動に期待したい。

創立50周年の節目に社員になったのも何かの縁と思いつつ、「こぶし座を皆で応援し続けるぞ!!」と、懇親会の席では元氣ハツラツの私でした。

『板垣清』さんについて

元、国家公務員。傍ら、落語好きがこうじて始めた話芸は、今やプロ級の腕前に! お呼びとあらば、全国各地の何処へでも。『二杯亭小酔楽』

どうぞ、ご最良に…。



「後援会総会」報告
今年も力合わせて
座の前進を支えよう!!



新体制…会長を先頭に頑張ろう!

伝言板

《本部車購入》

座の本部車(軽四)更新!!
今までも困ったときには、イワタオート…と、本部での車の悩み解決をお願いしていたクルマ屋さんから、遂に新車を購入しました。

これまでずっと中古車での面倒をかけてきたこと、公演依頼に遠出が多くなってきたこと、何より故障という不測の事態に遭遇したことを鑑みて、制作2号車同様に、新車での購入決断です。
：スズキ・スペーシアです。

編集後記

オリンピックが開催中…。ジカ熱、政情不安などが心配されたリオでの開催だが、選手たちが繰り広げる感動的なドラマは、世界の平和を希求する人間の祭典だからこそ生まれるものだと思信する。無事に閉幕することを心から祈るばかりであるが、こうして世界中が熱狂している隙に、何やら企む輩たちが不穏な動きを周到に準備しているのではないかとつい考え込んでしまうイヤな癖が…。
「オリンピズム」に逆行するあらゆるものに抗せねば、次期開催を誇れぬだろう。(徹)